

沖縄学習センター

(コード：47A)

沖縄学習センター案内図 ☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスタークナナルー牧志一儀保一旧琉球大学病院前一琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー沖縄国際大学前ー琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール

(経路)那覇空港駅—……—首里駅—石嶺駅—経塚駅—浦添前田駅—てだこ浦西駅(終点)

*「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

(昼食について)

- ・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間:土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

- ・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

沖
繩

科目コード	2688646	授業概要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。大学では多くの講義でレポートや論文（学術的な文章）が課されますが、大学入学前までに書いてきた感想文や小論文とは何が違うのでしょうか。この講義では、レポート・論文の要件や組み立て方（構成）、形式、学術的な文章でよく使われる表現等、レポート・論文を書くときに必要な基本的な事柄を学びます。
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	日本語の文章表現		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	16名		
担当講師	タカハシ ミナコ 高橋 美奈子 琉球大学 教育学部准教授		
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1 時限 10:00~11:30 第2 時限 11:40~13:10 第3 時限 14:00~15:30 第4 時限 15:40~17:10 2026年4月19日(日) 第1 時限 10:00~11:30 第2 時限 11:40~13:10 第3 時限 14:00~15:30 第4 時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室		
			【到達目標】 1) 大学生活に必須であるレポートの書き方の基礎知識とスキルを身に付ける。 2) レポート作成に必要なプロセスを経て、レポートを書くことができる。 【授業テーマ】 第1回 レポート・論文とは何かを知ろう 第2回 問いを立てよう 第3回 レポートの組み立て方を知ろう 第4回 先行研究を調べよう 第5回 引用の仕方を学ぼう 第6回 アウトラインを作成しよう 第7回 パラグラフを書こう 第8回 お互いのレポートを点検しよう 【学生へのメッセージ】 大学でレポート・論文を書いたことがない方向けの科目です。他の受講生とともに協力しながら主体的に楽しく学びましょう。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 Microsoft Word（ワード）で文書が作成できるように、Wordの入力操作を練習しておいてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1) 持参する端末 ご自身で操作可能なノートパソコン又はタブレット（キーボードがあるもの）を持参してください（スマートフォンは不可）。 2) OSの指定 OSの種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。ただし、講義では講師はWindowsを使用するので、説明はWindowsになることをご了承ください。 3) ソフトのインストール Wordのソフトを事前に持参する端末にインストールしておいてください。 4) その他 ・USBメモリスティック（4GB以上）を1本持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・教科書（『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法（第2版）』ひつじ書房）は事前に購入して、当日持参してください（デジタル教科書も可）。 ・参考図書は、購入不要です。 【教科書】 ・失敗から学ぶ大学生のレポート作成法 第2版（近藤裕子・由井恭子・春日美穂／ひつじ書房／¥1,760／ISBN=9784823412479） ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。また、教科書の「版」を間違えないようにご注意ください。「初版」ではなく、「第2版」を準備してください。 【参考書】 ・この1冊できちんと書ける！【新版】論文・レポートの基本（石黒圭／日本実業出版社／¥1,760／ISBN=4534060807） 【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2688760	授業概要	【授業内容】 私たちの日常生活には「からだ」の情報を使う場面が多くあります。例えば、病院での心電図検査や超音波エコー検査では、内臓の働きという情報を取り出して病気の診断に活用しています。指紋や顔といった身体の形の情報は、家の扉やスマートフォンの鍵として活用されたり、事件や事故の検査に活用されたりしています。本講義では、私たちの「からだ」の情報を取り出す技術をやさしく解説します。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 (1) 「からだの情報」の具体例を挙げられる。 (2) アナログ信号とデジタル信号の違いを説明できる。 (3) 超音波エコー、心電図、MRI、CTのいずれかの計測原理の概略を説明できる。 (4) バイオメトリクスについて、具体例や関連する画像処理の要素技術を挙げられる。 (5) からだの情報を守る方法の概略を説明できる。
クラスコード	K		
科目名	「からだ」の情報を取り出す技術		【授業テーマ】 第1回 「からだ」の情報とは何か? 第2回 情報のデジタル表現 第3回 病院の検査で測る「からだ」の情報（1）：心臓の働き（心電図、血圧） 第4回 病院の検査で測る「からだ」の情報（2）：内臓の働き（超音波エコー） 第5回 病院の検査で測る「からだ」の情報（3）：脳の働き（MRI、CT） 第6回 日常生活で使う「からだ」の情報：指紋認証、静脈認証、顔認証 第7回 「からだ」の情報を守る方法：セキュリティ 第8回 まとめ
科目区分	専門科目：情報		【学生へのメッセージ】 情報技術や人体の仕組みに関する講義ですが、それらの基礎知識のない学生でも理解できる説明を心がけます。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
定員	20名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	クニタ イツキ 國田樹 琉球大学 工学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月18日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年4月19日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2688697	授業概要	【授業内容】 行動経済学は、人間の心理や行動を観察し、その特徴を明らかにすることを通じて伝統的な経済学を再構築しようとする新しい分野で、近年注目を集めています。 本講義では、伝統的な経済学の考え方と対比させつつ行動経済学の考え方について学びます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 講義で学んだ人々の心理や行動の「クセ」の特徴について的確に理解し、それらを日常生活で見られる出来事と結び付けて考えることができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 行動経済学とはどのような分野だろう？－人間行動の「クセ」に焦点を当てる新しい経済学 第2回 行動経済学とこれまでの経済学はどこが違うのだろう？－これまでの経済学の人間像「ホモエコノミカス」 第3回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」①－代表性ヒューリスティクスと利用可能性ヒューリスティクス 第4回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」②－アンカリング効果とフレーミング効果 第5回 期待賞金額－くじから得られる平均的な賞金額 第6回 どうしてそのくじを買わないの？①－不確実性に対するこれまでの経済学の捉え方「期待効用仮説」 第7回 どうしてそのくじを買わないの？②－これまでの経済学の捉え方の限界「アレのパラドックス」 第8回 どうしてそのくじを買わないの？③－不確実性に対する行動経済学の捉え方「プロスペクト理論」
科目区分	導入科目：社会と産業		【学生へのメッセージ】 講義では、受講生の皆さんと意見交流を行いながら一部双方向的に実施する予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。
ナンバリング	220		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
定員	30名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	ホリ カツヒコ 堀 勝彦 琉球大学 国際地域創造学部准教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【参考書】 ・行動経済学入門（筒井義郎他／東洋経済新報社／¥2,640／ISBN=9784492314975）
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2688735	授業概要	【授業内容】 超少子高齢社会が進展し人生100年時代が予想される中、高齢期の特徴及び正しい老化の過程を理解することは、生涯発達の視点からもますます重要なものとなっています。本授業では、老年学に関する研究知見を踏まえ、主観的幸福感及び健康寿命の背景要因等に関する理解の深化を主な内容としています。「生涯発達」及び「老年的超越」を共通のコンセプトとして、講義及び議論を通して学びを深めます。	
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 学際的学問である老年学を通して、生涯発達の視点を踏まえた正しい老化のプロセスを理解するために、老化の理論、生理的老化と病理的老化、生きる意味と生きがい、主観的幸福感、ライフスタイル、ライフイベント、健康長寿の背景要因等についてグループディスカッション、発表、情報の共有等を行い、自分自身の役割や課題等について判断できるようになる。	
クラスコード	K			
科目名	老年学への招待			
科目区分	専門科目：生活と福祉		【授業テーマ】 第1回 老年学の背景と高齢者の特徴 第2回 健康長寿者のライフスタイル 第3回 高齢期のライフイベントと課題 第4回 老化理論と寿命 第5回 老化と生涯発達 第6回 生きがいと老年的超越 第7回 死の準備教育と現状 第8回 主観的幸福観の背景要因	
ナンバリング	320			
定員	30名		【学生へのメッセージ】 日本人の平均寿命は女性87.26歳、男性81.09歳と着実に寿命が伸びていますが、正しい老化の過程は十分に理解されていないのが現状です。「生涯発達の視点」から老化を捉え、健康長寿や主観的幸福観の背景要因について考えます。	
担当講師	シモジ トシヒロ 下地 敏洋 沖縄学習センター 客員教授		【受講前の準備学習等】 健康長寿や生きがい等について、シラバスの内容から判断し、事前の自己学習に努めてください。	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・グット・ライフ(ロバート・ウォールデインガー、マーク・シュルツ(著)、児島修(訳)／辰巳出版／¥1,870／ISBN=9784777830398) ※書店、ネットでの購入が可能です。 ※授業で、教科書の内容について、詳細な読み合わせや確認は予定しておりません。 ・100歳は世界をどう見ているか(権藤恭之／ポプラ新書／¥990／ISBN=9784591182581) ※書店、ネットでの購入が可能です。 ※授業で、教科書の内容について、詳細な読み合わせや確認は予定しておりません。	

科目コード	2679183	<p>【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>【その他 (特記事項)】</p> <p>を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験の中から3つの実験(目撫者証言、ミュラー・リヤー錯視、心理尺度)を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者(協力者)として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【到達目標】</p> <p>心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撫者証言」の実施 第3回 実験1「目撫者証言」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第4回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第6回 実験3「心理尺度(一対比較法、順位法、評定尺度法)」の実施 第7回 実験3「心理尺度(一対比較法、順位法、評定尺度法)」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第8回 まとめとレポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作(エクセル、ワード等)を習得しておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の窓」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとに復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」「心理学研究法('20)」「心理学統計法('21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 ソフトのインストール <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・マウス、USBメモリ(実験データ保存用)及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかつた際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授	
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	<p>授業概要</p>

科目コード	2688743	授業概要	【授業内容】 近世の琉球国時代（1609年～1879年）における琉球の政治・経済・社会に関する古文書をとりあげ、それらを読み解くことで、琉球史の多様な局面を講義します。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 琉球国時代の琉球史に関して、旧来の歴史像と1990年代以降の新たな研究による歴史像の違いについて、確実な古文書史料に基づいて的確に説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 琉球・沖縄歴史の推移と概要 第2回 16～19世紀、国王朱印状、言上写、御印紙の検討 第3回 「三平等案文」等に見る琉球の科試（琉球版科挙） 第4回 庶民史料の発掘と検討 第5回 「孝女伝」等に見る琉球社会 第6回 三司官伊江親方朝睦とその時代 第7回 首里城の普請（修築）日記の検討 第8回 琉球古文書の発掘・整理・公開と活用
科目区分	専門科目：人間と文化		【学生へのメッセージ】 近世の琉球国時代（1609年～1872年）は、日本（薩摩藩・江戸幕府）と中国（明清）との複雑な政治関係をもつ時代でした。かつては「暗い時代」としてマイナスイメージが付きまとっていましたが、近年では多様な局面が解明されてきました。受講生の皆さんに抱く琉球史像を問い合わせる機会になることを期待します。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 事前に概説書（『新版県史』47 沖縄県の歴史 山川出版社、2010）、『大学で学ぶ沖縄の歴史』（吉川弘文館、2023）などを一読しておいてください。
定員	30名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
担当講師	トミヤマ カズユキ 豊見山 和行 琉球大学名誉教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月16日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月17日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2688700	授業概要	【授業内容】 近年は、知的財産に関するトラブルが増え、企業からは知的財産に直接携わる職種はもちろん、これまで知的財産と関わりがなかった職種でも、知的財産に関する知識・能力をもつ人材が求められるようになっています。しかし、そのような知識・能力をもつ人材は少ないため、少しでも知的財産に関する知識を身に付けてもらうことを目指します。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 知的財産保護制度の全体像と、知的財産権の1つである著作権や産業財産権（特許・実用新案・意匠・商標）の概要を理解できるようになります。また、実社会で起きている知的財産に関する問題が、どのような知的財産権に関係しているか理解できる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 知的財産権の種類と概要 第2回 ブランドの保護と知的財産権の活用 第3回 企業における特許権の活用と侵害事件① 第4回 企業における特許権の活用と侵害事件② 第5回 著作物と著作権（人格権）の種類 第6回 著作物の侵害とは？（著作物の利用行為と著作権の制限） 第7回 企業における特許権の活用と侵害事件③ 第8回 企業における特許権の活用と侵害事件④
科目区分	導入科目：社会と産業		【学生へのメッセージ】 各回のテーマは、受講生の理解度や興味の度合いによって、変更する場合があります。 知的財産管理技能検定や弁理士試験に興味があれば、是非お知らせください。
ナンバリング	220		【受講前の準備学習等】 次の資料をインターネットから無料でダウンロードできますので、予習として事前に読んでください。 ・特許庁『工業所有権法（産業財産権法）』逐条解説 ※特許庁HP ・特許庁『産業財産権法』法令改正の解説 ※特許庁HP ・文化庁『著作権テキスト』 ※文化庁HP
定員	30名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	オオクボ ヒデト 大久保 秀人 沖縄国際特許商標事務所 代表／弁理士		【教科書】 教科書は使用しません。
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2688751	授業概要	【授業内容】 民俗学が古くから伝わる人々のくらしを研究対象とするのは、過去を知ることにより私たちの生きる「今」を考える手がかりとするためです。 本授業では、沖縄の多様な民俗事象のうち、今も日常のくらしの中で目にし、用いる機会の多い祭具や供物といった信仰をめぐる「もの」に焦点をあて、その形式や意味、変容の過程と今日のありようから、沖縄の民俗の特色、そして現代沖縄の生活文化のルーツを解き明かしていきます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 祭具や供物など、沖縄の伝統的な信仰をめぐる「もの」の形式や意味、変容の過程と今日のありようについて理解し、これらを踏まえて沖縄の民俗の特色や現代沖縄の生活文化のルーツについて説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「もの」の形式は心のあらわれー沖縄の民俗を学ぶにあたってー 第2回 ヒヌカン（火の神、かまどの神） 第3回 位牌と仏壇 第4回 ウコール（香炉）と線香 第5回 ウチカビ（紙銭）とジューバク（重箱に詰めた供えもの） 第6回 ピンシー（携行用の御願道具）と酒、米 第7回 ソーグワチ（正月）、シチグワチ（盆）の供えもの 第8回 「もの」からみる沖縄の民俗の特色と今
科目区分	専門科目：人間と文化		【学生へのメッセージ】 日常のくらしの中に存在するさまざまな民俗事象の意味やルーツを解き明かしていくことを通じ、沖縄の民俗を学ぶ楽しみ、知る喜びを味わってもらいたいと思います。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 (1) 日常のくらしの中にある祭具や供物について関心をもつよう心がけてください。 (2) 「参考書」の項に掲げたものをはじめ、事前に各回のテーマに関連する資料を読んでおいてください。
定員	40名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
担当講師	イナフク マサナリ 稻 福 政 斎 沖縄国際大学非常勤講師 ／沖縄大学非常勤講師		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月23日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月24日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【参考書】 ・御願の道具と供えもの事典（稻福政斎／ボーダーインク／¥2,420／ISBN=9784899823308） ・ヒヌカン・仏壇・お墓と年中行事（稻福政斎／ボーダーインク／¥1,760／ISBN=9784899823773） 書店およびネット通販（Amazon、honto、楽天ブックス等）で入手可能です。 ・「御願じょうず」なひとが知っていること（稻福政斎／ボーダーインク／¥2,200／ISBN=9784899824596） 書店およびネット通販（Amazon、honto、楽天ブックス等）で入手可能です。 ・沖縄しきたり歳時記 増補改訂（ボーダー新書17）（稻福政斎／ボーダーインク／¥1,320／ISBN=9784899823582）
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2688654	授業概要	【授業内容】 世間では数学が嫌いな人が多いですが、それは、数学というと難しい記号や計算が出てきて何をやっているのか理解できないことをやっているようなイメージがあるからではないでしょうか。ところが、数学的に考えるというのは、自分が何をやっているのか、きちんと理解しながら考えるということなのです。問題をなんとなく捉えるのではなく、何を意味しているのかきちんと定義して考えていくことなのです。 数学的に考えるのは、実はとても楽しいことだと理解いただけると思います。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 日々の暮らしの中で出てくる数学的概念に気づくことができ、その概念を扱うことができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】
科目名	暮らしに役立つ 楽しい数学		第1回 誕生日当てるカードの秘密：誕生日を当てるカードがあるけど、どんな仕組みなのか。 第2回 簡単な確率の問題を考えよう：ライアーゲームにも登場したゲーム 第3回 階段の上り方をどうやって数えようか：漸化式という考え方 第4回 天国への道：論理的に考えるのは楽しい。 第5回 素数って何にたつ？ 第6回 人生を支配する曲線：私たちの人生のほとんどが、ある曲線に支配されている。 第7回 数列の和の公式を暗記するのは苦しいけど、公式を導くのはすごく楽しい。 第8回 国の借金1,000兆円越え、国民一人当たり約1,000万円って大丈夫なの？日本を救おう！！小学生でもわかる等式から驚くべき事実が。
科目区分	基盤科目		【学生へのメッセージ】 毎時間、異なるテーマを扱いますが、全体を通して「数学的に考える」ということで一貫しています。わかるということがとても楽しいことだということを体験して欲しいと思っています。
ナンバリング	120		【受講前の準備学習等】 中学校で習った内容（素因数分解、平方根など）を復習しておいてください。
定員	30名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日 熊 隆 則 沖縄学習センター 客員准教授		【受講者が当日用意するもの】 ノートを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【その他（特記事項）】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2688670	授業概要	【授業内容】 多様な事例から、子どもはなぜ荒れるのかに迫ります。ポイントは、子どもの言動を読み取り理解できるかです。そして言動に隠されていたものを明らかにします。講義の1日目は幼稚園、保育園から小学校の中学生までの子の事例が多く登場します。2日目は小学校高学年から中学生や大人の事例が出てきます。発達障害の特性や感情コントロールに苦しむ子どもについての例や自分の過去に葛藤を抱える大人の例もあり、子どもの心理を読みながら、自分の人生を振り返る一面を持った授業です。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 子どもはなぜ荒れるのか、事例をもとにしたクイズやワークに個人やペア、グループで取り組み、子どもたちのライフヒストリーに共感的に迫ることを通して、実は叫びであることを理解することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】
科目区分	導入科目：心理と教育		第1回 事情を背負った子ども、大人は敵だった 第2回 すれ違う幸せ、さようなら家族？ 子どもの願い 第3回 発達障害とアタッチメント、詩から想像しよう 第4回 発達障害、感情コントロールに苦しむ子ども 第5回 否定の中の肯定、格差社会を生きる三銃士 第6回 ある少女の叫びと反発、表現してみよう 第7回 思春期の葛藤、私は生きている値打ちがあるのか 第8回 まとめ、あなたはなぜこんな大人になったのか
ナンバリング	220		【学生へのメッセージ】 この講義は多様な子どもの事例について、説明だけでなくクイズが出てきます。答えをひとり、あるいは共同で楽しく学んでいくものです。
定員	30名		【受講前の準備学習等】 事前に教科書を準備し、読んでおいてください。当日はこの本を使います。
担当講師	タンノ キヨヒコ 丹野 清彦 琉球大学 非常勤講師		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【受講者が当日用意するもの】 指定された教科書『子どもの願い いじめVS12の哲学』を当日持参してください。毎時間テキストを読むなど、活用します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		【教科書】 ・子どもの願い いじめVS12の哲学 (丹野清彦／高文研／¥1,650／ISBN=9784874986479) ※各自、書店やインターネット等で事前に購入し、読んでいることを薦めます。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2679256	<p>【授業内容】</p> <p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD : Bring Your Own Device)で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>【その他 (特記事項)】</p> <p>を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【到達目標】</p> <p>心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「視覚探索」の実施と解説 第3回 統計的分析、レポートの書き方 第4回 実験2「ストループ効果」の実施 第5回 実験2「ストループ効果」の解説 第6回 実験3「SD法」の実施 第7回 実験3「SD法」の解説 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ●OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ●「視覚探索」の実験は「オンライン実験のサイト」で実施します。事前に「オンライン実験のサイト」にアクセスし、ブックマークする等、授業の際すぐにアクセスできるようにしておいてください。パスワードは授業内でお伝えします。 https://psychology-ouj.sakura.ne.jp/psychexp_v03/ (ただし、授業開講前に新しいバージョンのサイトが運用される可能性が0ではありません。その場合は授業内でお知らせします。その場合もURLにはほとんど変更はない予定です) ●実験したデータの提出と配布のために、Google driveの「2026心理学実験3_データ提出用」フォルダを使います。このフォルダにもアクセスできるようにしておいてください。 https://drive.google.com/drive/folders/1CtltivwrTUyDeVeqli4y_opDveaHELz?usp=sharing <p>授業概要</p> <p>学習など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 ●この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。 <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアーフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・マウスがあると便利です。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートはメール等を介して提出してもらいます。基本的に皆さんが何かをプリントアウトする機会はないと思いますが、仮にプリントアウトが必要になった場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●充電が完了した端末を必ず持参してください。充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 ●端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 ●端末の故障や必要なソフトをインストールしていないかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 ●心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 ●レポートは完成された形であることが必要です。内容に大きな不足があった場合、レポートを提出したとしても不可となることがあります。 ●色識別を要する実験課題「ストループ効果」があります。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヤマダ キヨウコ 山田 恒子 琉球大学グローバル教育支援機構 アドミッション部門准教授	
日程実施時間	2026年5月30日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年5月31日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2688689	授業概要	【授業内容】 児童期の発達障害、思春期青年期のひきこもりなど様々な問題、成人してからの統合失調症やうつ病など、現代社会で数多くとりあげられるメンタルヘルスの問題をテーマに講義していきます。特に、それらの分野に関する支援実践の現状について触れながら、かつ演習を交えながら講義を進めていきます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 精神医学や精神疾患の視点にとどまらず、「生活」を含めた包括的な視点で、児童期から思春期、成人期にいたるまでのメンタルヘルスの問題を考えることができます。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 成人のメンタルヘルス (1) 第2回 成人のメンタルヘルス (2) 第3回 成人のメンタルヘルス (演習1) 第4回 成人のメンタルヘルス (演習2) 第5回 子どものメンタルヘルス (1) 第6回 子どものメンタルヘルス (2) 第7回 子どものメンタルヘルス (演習1) 第8回 子どものメンタルヘルス (演習2)
科目区分	導入科目：心理と教育		【学生へのメッセージ】 一方的な講義だけではなくて、グループワークや演習を含めた学習を進めています。
ナンバリング	230		【受講前の準備学習等】 『ブラックジャックによろしく（9巻～12巻）』（佐藤秀峰著）を読んで来てください（ネット上で無料閲覧可能・「ブラックジャックによろしく」で検索してみてください）。この漫画の登場人物の立場とその立場に関わるその人の考え方について整理しておいてください。授業でワークをします。
定員	30名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況（グループワーク、演習なども含みます）及び試験の評点により行います。
担当講師	チナ タカシ 知名 孝 沖縄国際大学 総合文化学部教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2688778	授業概要	【授業内容】 琉球列島の一部の地域は、その生物多様性の高さから、2021年に世界自然遺産に登録されました。本講義では、琉球列島における生物相の成立や生物多様性保全の取り組みについて概説します。また、生物の多様性は種間関係にも表れているため、その事例を紹介します。さらに、生物多様性を保全するための1つである外来種対策について概説するとともに、沖縄における現状を実習をおして学習します。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 (1) 琉球列島の生物多様性の高さと、その成立要因について理解する。 (2) 琉球列島における動物－植物相互関係に関する理解を深める。 (3) 琉球列島における生物多様性の脆弱性および、外来種問題を理解する。また、外来種問題の解決策を考え、提案することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 生物多様性とは何か 第2回 琉球列島における生物多様性の成立 第3回 沖縄でみられる種間関係（野外実習を含む） 第4回 琉球列島における生物の保全と法令 第5回 外来種はなぜ問題なのか？ 第6回 外来種の食性（室内実習） 第7回 琉球列島における外来種問題 第8回 まとめ
科目区分	専門科目：自然と環境		【学生へのメッセージ】 琉球列島に限定した生物多様性および保全の話だけでなく、幅広い地域の内容も扱う予定です。日頃から自然環境に興味を持っていてもらえると内容がわかりやすいと思います。野外および室内実習を含みます。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
定員	20名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	コバヤシ シュン 小林 峻 琉球大学 理学部助教		【受講者が当日用意するもの】 1日目（6月6日）は、野外で生物観察を行います。野外に出て歩ける靴および服装で参加してください。 2日目（6月7日）は、生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装・靴で参加してください。
日程実施時間	2026年6月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 <ul style="list-style-type: none">・生物多様性と地球の未来－6度目の大量絶滅へ？（太田 英利（監修、翻訳）、池田 比佐子（翻訳）／朝倉書店／¥3,740／ISBN=9784254171655）・いきもの六法 日本の自然を楽しみ、守るための法律（中島 慶二（監修）、益子 知樹（監修）、山と渓谷社いきもの部（編集）／山と渓谷社／¥1,980／ISBN=9784635590518）
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 および 1日目第3回は 沖縄学習センター周辺		【その他（特記事項）】 1日目と2日目に実習があります。「学生教育研究災害傷害保険」及び「通学中等傷害危険担保特約」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。未加入者は実習に参加できません。（面接授業開設科目一覧P. 5参照）

科目コード	2688719	授業概要	【授業内容】 沖縄では、稻藁などの植物で作った「藁算（わらざん）」と呼ばれる結縄が、文字を学べなかった庶民を中心に、琉球王国時代から明治期まで記録や意思の伝達などに使われていました。その一部は、現在でも沖縄の祭祀の中に見られます。授業の前半では、日本で唯一沖縄だけに残るこの結縄文化について学習します。授業の後半では、近年まで沖縄の生活の中に見られた様々な植物利用を概観し、資源が限られた島で生きる人たちの知恵と技について学びます。また、藁算や植物民具の制作実習と琉球大学博物館での関連資料に関する解説も併せて実施します。
学習センター（コード）	47A		【到達目標】
クラスコード	K		<ul style="list-style-type: none"> ・無文字社会における、結縄や木斛による記録や意思の伝達方法について、その概要を説明することができる。 ・明治期に至るまで、沖縄だけに結縄が残ってきた理由を、その社会的背景を踏まえて説明することができる。 ・沖縄の植物利用の特徴について、具体的な例を挙げて説明することができる。 ・島における持続的な資源利用について、自らの考えを伝えることができる。 ・簡単な藁算と植物民具を製作することができる。
科目区分	導入科目：人間と文化		【授業テーマ】
ナンバリング	220		<p>第1回 無文字社会における記録と意思の伝達方法 第2回 沖縄の結縄「藁算」とは その1 第3回 沖縄の結縄「藁算」とは その2 第4回 沖縄に残るもう一つの結縄 サン 第5回 沖縄の植物利用 第6回 藉算と植物民具の制作実習 第7回 琉球大学博物館で学ぶ沖縄の結縄と文化 その1 第8回 琉球大学博物館で学ぶ沖縄の結縄と文化 その2</p>
定員	18名		【学生へのメッセージ】
担当講師	ササキ タケシ 佐々木 健志 元琉球大学博物館助教／ 学芸員		<ul style="list-style-type: none"> ・植物を使って藁算などの制作実習を行いますので、汚れてもよい服装でお越しください。 ・琉球大学博物館では、展示標本の撮影が許可されていますので、写真資料として事後学習等に役立ててください。
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【受講前の準備学習等】
実施会場	沖縄学習センター 小講義室 および 6月14日（日）のみ 琉球大学博物館・鳳樹館		<ul style="list-style-type: none"> ・無文字社会、結縄、木斛、キープ、藁算などの用語について、インターネット等で調べておいてください。 ・沖縄の魔よけの「サン」について、インターネット等で調べておいてください。 ・琉球王府時代の人頭税制度や教育制度について、インターネット等で調べておいてください。 ・沖縄の植物を利用した民具や祭祀植物について調べておいてください。 ・授業で学修した内容や配布資料を活用して復習を行い、理解を深めてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】
			<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄結縄考（田代安定／至言社／¥4,500／ISBN=30397718417612） 1977年発行 古書にて入手可能 ・藁算 琉球王朝時代の数の記録法（栗田文子／慶友社／¥4,500／ISBN=487449238X） ・南島の自然誌 変わりゆく人－植物関係（山田孝子／昭和堂／¥5,300／ISBN=9784812211687） ・琉球植物民俗事典 聞き書き 琉球列島の植物利用（盛口満／八坂書房／¥4,000／ISBN=9784896943603） ・沖縄県史 各論編 第9巻 民俗（沖縄県教育庁文化財課史料編集班 編集／沖縄県教育委員会） コラム 沖縄に残る結縄文化－ワラザン－p206-208. 佐々木 健志著. 2020. 授業当日にコピーを配布します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 2日目に琉球大学博物館で解説します。「学生教育研究災害傷害保険」及び「通学中等傷害危険担保特約」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。未加入者は実習に参加できません。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2679264	授業概要	【授業内容】 心理検査について、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などについて説明します。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間中に指示します）。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター（コード）	47A		【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的な手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができるようになることを達成目標とします。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能の概説 第3回 心理検査が測定する対象～性格の概説 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査 レポートの作成 第5回 投影法心理検査の基礎理論 第6回 具体的な心理検査2 バウムテスト 第7回 具体的な心理検査3 バウムテスト 第8回 具体的な心理検査4 心理尺度（タイプA性格）
科目区分	専門科目：心理と教育		【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
定員	40名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートは、単位認定試験成績通知後に返却します。
担当講師	タナカ カンジ 田中 寛二 琉球大学 人文社会学部教授		【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、心理検査の実施のために、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、赤鉛筆（赤ペンで可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。
日程実施時間	2026年6月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 2026年6月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2688662	授業概要	【授業内容】 人生100年時代と言われる現代、厚生労働省は「2050年代、女性の平均寿命は90歳を超える」と予測し、ある研究では「2007年生（18歳）の半数が107歳まで生きるだろう」としています。このような中、食育への関心も高まり、様々な場面で取組が行われています。本講義では、大人の食育に焦点を当て、「生きた教材」といわれる学校給食から栄養や健康に関すること、沖縄県の郷土料理から食文化などを学び日々の暮らしを豊かにする食育について考えます。
学習センター（コード）	47A		【到達目標】 食を取り巻く環境の変化や健康課題に関する現状などから食育の必要性を理解し、食育白書（農林水産省）やメディア等より食育の実態と実情を把握する。自分の食生活を振り返り、バランスの取れた食事や健康に関すること、食を通じた豊かな生活など自分が実践できる食育について考えることができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 食育とは－暮らしの中の食育を考える－ 第2回 食育は知育・德育・体育の基礎となるもの 第3回 子どもの食育－学校給食を中心にして 第4回 学校給食の献立から学ぶ 第5回 食文化と食育 ミニクッキング① 第6回 食文化と食育 ミニクッキング② 第7回 大人の（自分ができる）食育を考える 第8回 まとめ
科目区分	導入科目：生活と福祉		【学生へのメッセージ】 これまでの食にまつわる思い出や普段の食生活などを振り返り、食と健康・栄養、食文化などについて考える時間にしていきます。
ナンバリング	220		【受講前の準備学習等】 課題2点について、それぞれ200文字程度にまとめて持参してください。 ①普段、食事や料理をする時に心がけていること (例：栄養のバランスを考える、よく噛む、野菜を多く取る、短時間でできる料理など) ②自慢の（好きな）家庭料理、行事料理について
定員	20名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	イグチ ナオコ 井口直子 琉球大学 農学部准教授		【受講者が当日用意するもの】 材料費等（500円） 2日目は調理を行いますのでエプロン、三角巾の準備をお願いします。また、爪は切りマニュキア等は落としてください。
日程実施時間	2026年6月20日（土） 第1時間 10:00～11:30 第2時間 11:40～13:10 第3時間 14:00～15:30 第4時間 15:40～17:10 2026年6月21日（日） 第1時間 10:00～11:30 第2時間 11:40～13:10 第3時間 14:00～15:30 第4時間 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・令和6年版食育白書（農林水産省編／日経印刷株式会社／¥2,145／ISBN=9784865794199）
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 および 6月21日（日）のみ 琉球大学農学部 多目的室		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 2日目に実習があります。「学生教育研究災害傷害保険」及び「通学中等傷害危険担保特約」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。未加入者は実習に参加できません。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2679221	授業概要	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	フルカワ タカシ 古川 韶 琉球大学 保健管理センター教授		
日程実施時間	2026年6月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		
実施会場	沖縄学習センター 実習室		
科書			【学生へのメッセージ】 パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとに復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
要			【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・USBメモリ (実験のデータ保存用) 及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 ・指定された教科書『心理学実験を学ぼう！』
			【教科書】 ・心理学実験を学ぼう！ (小河妙子・齊藤由里・大澤香織 (編) / 金剛出版 / ¥2,420 / ISBN=9784772411608) ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
			【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できぬため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかつた際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2688727	授業概要	【授業内容】 今日、テレビやインターネットを通じて「食」や「農業」に関する情報があふれる時代です。 この講義では、第一に地理学の視点から農業と風土との関係、世界の農業と食糧問題、日本の農業および沖縄の農業の地域特性、諸課題と展望についてみていきます。第二には「食文化」をキーワードとして、郷土食と行事にみる食文化の地域性、日本の地形・地質と食文化など我々の日常生活と食文化について様々な視点から考えていきたいと思っています。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 地理学を通じて、世界や日本そして沖縄の農業と食文化における地域的特色とその形成要因について説明することができるようになる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 はじめに－農業と風土と地域性－ 第2回 農業と食糧問題 第3回 日本農業の地域特性 第4回 沖縄農業の地域特性 第5回 地理学から食文化の地域性について考える 第6回 無形文化財と和食について 第7回 日本の郷土料理を訪ねて 第8回 おわりに
科目区分	導入科目：人間と文化		【学生へのメッセージ】 日頃、テレビ、新聞、インターネットの情報を通じて、農業や食文化に関心をもって頂ければと思っています。また、毎回の講義で登場する地名については地図帳で確認してください。
ナンバリング	220		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
定員	22名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	オガワ マモル 小川 譲 沖縄国際大学 経済学部特任教授		【受講者が当日用意するもの】 地図帳（市販のもの、あるいは中学校・高校で使用した古いものでもかまいません。スマホ等の地図アプリ使用可）、ノート、筆記用具、蛍光ペンなど。
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		【その他（特記事項）】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2688786	授業概要	【授業内容】 ヒトは様々な生物と繋がり、関わり合いながら生きています。本科目では、特に沖縄地域を中心に、ヒトに病害を与える寄生虫、衛生動物、海の危険生物について、写真、症例紹介等をまじえて講義・実習を行います。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 ヒトに病害を与える寄生虫、衛生動物、海の危険生物について理解し、説明することができる。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 「病害動物とは?」「寄生虫と寄生虫病Ⅰ」 第2回 「寄生虫と寄生虫病Ⅱ」「幼虫移行症」 第3回 「沖縄の寄生虫病」「寄生虫考古学」 第4回 「届出が必要な寄生虫病」「寄生虫食中毒」 第5回 「衛生動物とは?」「沖縄の病害動物」 第6回 「海の危険生物」 第7回 「病害動物実習」（マサバからのアニサキス回収等） 第8回 「まとめ」
科目区分	専門科目：自然と環境		【学生へのメッセージ】 身近に病害動物は溢れていますが、本授業で使用する映像には「咬傷例等の一部衝撃的な場面」が含まれますのでご承知ください。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
定員	30名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	トウマ ヒロム 當眞 弘 琉球大学大学院 医学研究科准教授		【受講者が当日用意するもの】 2日目（6月28日）は、生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装で参加してください。
日程実施時間	2026年6月27日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年6月28日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		【その他（特記事項）】 2日目に実習があります。「学生教育研究災害傷害保険」に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。未加入者は実習に参加できません。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

★沖縄学習センター【ライブWeb授業】実施科目(47A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の 2 科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科 目 コ ー ド	4002539	授業概要	【授業内容】 沖縄県のやんばるの森と鹿児島県の屋久島の森は、かつては伐採活動がさかんに行われ、木材生産によって地域の社会や経済を支えてきました。しかし、資源の減少や競争力の低下などで木材生産が下火になると同時に、森のすがたやそこに暮らす動植物の多様性などが評価されて森を保全する機運が高まりました。そして現在はともに世界自然遺産に登録され、普遍的な価値を持つ人類共通の遺産と位置付けられています。この授業では、やんばるの森と屋久島の森それぞれの特徴やこれまでの人のかかわり方を学び、これから時代の自然と人の共生について考えます。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 ・やんばるの森と屋久島の森の特徴を説明できるようになる。 ・森が私たちの生活に与える恵みを理解し、森と人の関係について知識を深め、これからの時代の自然と人の共生について考えられるようになる。
ク ラ ス コ ー ド	WK		【授業テーマ】 第1回 森のすがたとはたらき 第2回 やんばると屋久島の暮らし 第3回 やんばるの森の特徴 第4回 やんばるの森と人のかかわり 第5回 屋久島の森の特徴 第6回 屋久杉の森と人のかかわり 第7回 やんばると屋久島の森をとりまく課題 第8回 やんばると屋久島での自然と人の共生にむけて
科 目 名	★やんばるの森と屋久島の森		【学生へのメッセージ】 やんばるの森と屋久島の森は世界自然遺産に登録されていますが、人々に利用されてきた歴史があり、森と人の関係性を学ぶ教材としても重要です。実際に調査して得られたデータなども紹介しながら授業を進めます。
科 目 区 分	専門科目：自然と環境		【受講前の準備学習等】 ・やんばるの森や屋久島の森について、書籍、メディア、インターネットなどから情報収集をしておいてください。 ・受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
ナ ン バ リ ン グ	320		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定 員	20名		【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン（タブレット端末やスマートフォンは推奨しません）、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。
担 当 講 師	タカシマ アツシ 高嶋 敦史 琉球大学 農学部准教授		【教科書】 教科書は使用しません。
日 程 実 施 時 間	2026年5月15日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 2026年5月22日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 2026年5月29日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 2026年6月5日(金) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~12:25		【その他（特記事項）】 専用のシステム上で教材・資料を配布します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム（LMS）上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/
実 施 会 場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)		

科目コード	4002520	授業概要	【授業内容】 ロジカル・シンキング（論理的思考）とは、物事に対して感覚的に“なんとなく”捉えるのではなく、情報を整理して矛盾がないように順序立てて考え、結論を出す方法を指します。大量の情報が凄まじいスピードで流れる現代において、思い込みや直感、知識に頼らないこの“地頭力”こそが人類にとって一生もののスキルになると、私は信じています。本講義では、豊富な例題・演習を通じて知的トレーニングを積むことを目的としています。
学習センター(コード)	47A		【到達目標】 講義で扱う例題や演習を通じてロジカル・シンキングの根幹をなす5つのスキル（論理的思考、批判的思考、水平思考、俯瞰力、多面的視野）について理解することで、学生は解決すべき問題に対して直感や思い込みに流されることはなく情報を整理し、矛盾がないよう順序立てて考え、結論を出す方法を身に付けることができる。
クラスコード	WK		【授業テーマ】 第1回 ガイダンス 第2回 論理的思考（ロジカル・シンキング） 第3回 批判的思考（クリティカル・シンキング） 第4回 水平思考（ラテラル・シンキング） 第5回 これまで（トリプル・シンキング）の復習 第6回 俯瞰力 第7回 多面的視野 第8回 まとめ
科目区分	専門科目：情報		【学生へのメッセージ】 講義で扱う問題は、初見で解けなくても全く問題ありません。授業内で受講生に回答を求めたりグループディスカッションを行うこともありますが、ひとまず自分の頭で考えてみてください。その上で解説を聞き、授業後は問題を見たら解き方を思い出せるようになるまでしっかり復習してください。
ナンバリング	320		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
定員	20名		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学 工学部准教授		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。 インターネット環境のあるパソコン（タブレット端末やスマートフォンは推奨しません）、マイク・ヘッドフォン等、Zoom授業の受講に必要な設定等の準備。
日程実施時間	2026年5月29日(金) 第3时限 14:00~15:30 第4时限 15:40~17:10 2026年6月5日(金) 第3时限 14:00~15:30 第4时限 15:40~17:10 2026年6月12日(金) 第3时限 14:00~15:30 第4时限 15:40~17:10 2026年6月19日(金) 第3时限 14:00~15:30 第4时限 15:40~16:25		【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・頭のいい人だけが解ける論理的思考問題（野村裕之／ダイヤモンド社／￥1,980／ISBN=9784478119044） ・5分で論理的思考力ドリル（ソニー・グローバルエデュケーション／Gakken／￥1,320／ISBN=9784053049032）
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等 (学習センターでの受講は不可)		【その他（特記事項）】 専用のシステム上で教材・資料を配付します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、ご自身のパソコンに受講環境を整えてリアルタイムで受講する授業です。講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等は専用のシステム（LMS）上で行います。決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。 受講の検討にあたっては、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/